令和8年度障害学生支援実務者育成研修会（応用プログラム） カリキュラム

研修日	ﾀｲﾑｽｹｼﾞｭｰﾙ	時間	形式	プログラム名	担当	目的
事前	－	－	配信	障害学生支援のための学内ネットワーク構築に関する基本的な考え方とマネージメント 前半	山本先生	
	－	－	配信	障害学生支援のための学内ネットワーク構築に関する基本的な考え方とマネージメント 後半	山本先生	
1日目 11/10 （火）	10:00-10:10	10	ー	開会・趣旨説明	事務局 原田先生	・オリエンテーション ・研修の全体の流れと各演習の目的と内容を理解する。
	10:10-10:20	10	報告	JASSO事業説明	事務局	・R7障害学生修学支援の実態調査結果等について概要説明
	10:20-11:30	70	演習	プログラム① 事前学習の補足 ウォームアップ：論点整理	山本先生	・事前学習の補足等 ・班毎に自己紹介と情報共有を行い、グループワークの進め方を確認する。 ・メンバーの課題意識を共有し、今回の研修の論点と期待する成果について整理する。 ・活発な意見交換・情報交換が行える環境を整える。
	11:30-12:30	60	ー	昼食休憩	ー	ー
	12:30-14:30	120	演習	プログラム② （演習1）応用的場面における対応考案	原田先生	・障害学生支援コーディネーターを行っていると、一般的な合理的配慮の提供の流れ（1．学生から配慮の申請があり、2．その学生への合理的配慮について検討する会議が行われ、3．配慮内容の決定後、配慮の文書が授業担当教員に届けられる）とは異なる、様々な応用的な対応を求められる。 ・本演習では、「授業で言動が気になる学生について教員から相談された場合」および「学生が期末試験直前（もしくは直後）に試験に関する配慮申請をしてきた場合」の2つの応用的場面について、意見交換をしながら対応方法について考えを深める。
	14:30-14:45	15	ー	休憩	ー	ー
	14:45-16:45	120	演習	プログラム③ （演習2）建設的対話・ロールプレイ演習	望月先生	・合理的配慮の依頼を受ける担当教員やニーズ表明する学生の立場を体感し、社会的障壁を除去するための建設的対話のあり方を考える。 ・教職員と学生の立場の構造上の相違性を理解して、建設的対話を行うためのあり方を身につける。 ・合理的配慮の構成要件や立場上の相違性を関係者にわかりやすく伝えるための、対話方法など対応スキルを身につける。
	16:45		ー	事務連絡	事務局	
	16:45-17:00	※16時45分に1日目の研修会終了。17時まで任意に情報交換を行う。				
研修日	**ﾀｲﾑｽｹｼﾞｭｰﾙ**	**時間**	**形式**	**プログラム名**	**担当**	**目的**
2日目 11/11 （水）	9:30-11:30	120	演習	プログラム④ （演習3）教育実習における合理的配慮の検討	山森先生	・学外実習における合理的配慮は、実習先の特有の環境や活動内容、あるいは実習先との関係性等、学内とはまた異なる観点も踏まえて検討する必要がある。 ・本演習では、車いす利用の学生による教育実習参加の仮想事例を通して、実習に向けての必要な準備や合理的配慮の考え方について、理解を深める。
	11:30-12:30	60	ー	昼食休憩	ー	ー
	12:30-14:30	120	演習	プログラム⑤ （演習4）選択課題演習	番園先生 森先生	2つのテーマからメインテーマを1つ選択し、所属する学校が直面している、障害学生支援の現状と課題について情報共有を行い、グループワークを通じて課題解決のための方法論について理解を深めていく。
	14:30-14:45	15	ー	休憩	ー	ー
	14:45-15:20	35	総括	プログラム⑥ 振り返り・まとめ	原田先生	・本研修会の気づきについて、各人で話したい内容について自由に意見交換を行う。
	15:20-16:00	40	対談	対談	講師全員	・合理的配慮の提供等について対談をする。
	16:00		ー	閉会	事務局	

※プログラム内容、時間は変更の場合があります。